

20年の
あゆみ

訪問看護ステーション

この部門の特徴

ご病気や障がいをお持ちの方が、住み慣れた環境で自分らしく生活していけるように、かかりつけ医との連携の下、看護師がお住まいの場へ訪問し、療養生活全般の支援サービスをご提供いたします。訪問看護、介護、リハビリが連携し、ご利用者・ご家族と向き合いながらサービスを提供します。

これからの飛躍に向けて

所長 看護師 田中 智子 2001年入社

訪問看護に配属されて気が付けば勤続19年となりました。この間に、義母が脳出血で倒れ、祖母がアルツハイマー型認知症を患い、共に当施設を利用しました。一家族としての経験をもとに、本人の意思決定を支援し、かかりつけ医師をはじめとし、短期入所・通所リハビリ・訪問介護・居宅介護支援事業所などの担当者と密接な連携に努め、在宅での療養生活を訪問看護の立場から微力ながらもサポート出来るように努めたいと思います。



看護師 桑原 奈保子 2020年入社

新卒から十数年、急性期病院で勤務してきました。急な病気の発症で、「今まで通り」の生活が送れなくなった方にたくさん関わってきました。その中で、地域のサポートや在宅看護の役割を知り興味を持ちました。何より、ひとと話すことが大好きな私!訪問看護師になり「ちょっと待って」「今手が離せなくて…」と言う事がなくなり、ゆっくりとお話を聞くことができています。今後も自ら学び、より良い看護を提供できるよう努力していきたいです。



早くライブに行きたい!

職員紹介



2016年入社
看護師
結城里江子

訪問看護師となり4年以上が経過。ご利用者様・ご家族様の想いに寄り添い、その人らしく過ごすために何が出来るかを考える毎日です。信頼される看護師となるべく努力していきたいと思っています。



2015年入社
看護師
白倉則子

入所棟から移動し1年。疾患や年齢層が幅広く勉強の毎日ですが、家族愛、夫婦愛を垣間見ることもあり元気をいただいています。ご利用者様の住み慣れた家で療養したいという思いを大切にし尽力していきます。